

事務事業名	雲南夢ネット運営事業 (CATV事業)	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
	施策名	(06)地域情報化の推進	担当者名	伊藤 豊	電話番号	0854-40-1015
	目的	対 象 市民 意 図 高度情報通信環境を利活用する。	予算科目	会計 011001 款 1001 大 事 業 名 情報通信総務管理事業	(内線)	3521
	基本事業名	(016)情報通信(技術・手段)の整備促進	項目	055529 中 事 業 名 雲南市飯南町事務組合負担金 (CATV事業)		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 雲南市及び飯南町における有線テレビジョン放送の効率的な運営を図るため、雲南市・飯南町事務組合を設置し、施設の設置及び維持管理並びに運営について、共同処理を行っている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) CATV事業は、大東局、木次局、掛合局、飯南局の4局体制で実施。 ①テレビ・ラジオの再送信 ②市政情報番組を含む自主放送の制作放送 ③音声告知放送 ④データ放送・文字放送	25年度計画(25年度に計画する主な活動) CATV事業は、大東局、木次局、掛合局、飯南局の4局体制で実施。 ①テレビ・ラジオの再送信 ②市政情報番組を含む自主放送の制作放送 ③音声告知放送 ④データ放送・文字放送			
	② 活動指標	デジタル化整備事業(スタジオシステムほか)	デジタル化整備事業(中継用撮影設備ほか)			
		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	加入者件数(全体)	件	13,199	13,166	13,114	13,200
イ	加入者件数(事業者等を除く)	件	12,292	12,286	12,241	12,300
ウ	インターネット契約件数	件	4,725	4,826	4,773	4,800
エ	音声告知放送端末設置世帯	世帯	11,786	11,837	11,864	11,900

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	市民	ア	人口(人口推計)	人	41,917	41,159	40,548	40,650
		イ	世帯数(3月末住基世帯)	世帯	13,667	13,647	13,782	未確定
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
1. 効率的な運営を行い、市民に地域の情報(自主番組等)、行政情報等を発信する。 2. インターネットの普及による情報格差是正	ア	1週間当たりの自主制作番組の放送時間	時間	3.5	3.5	3.5	3.5	
	イ	ケーブルテレビ加入率	%	90	90	89	90	
	ウ	音声告知放送端末設置率	%	86	87	87	88	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
雲南市・飯南町事務組合負担金(経常)72,155千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	27,000	25,000	25,000	25,000
		一般財源	千円	24,452	56,416	47,155	39,934
	事業費計(A)	千円	51,452	81,416	72,155	64,934	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	504	452	400		
	人件費計(B)	千円	1,960	1,782	1,567		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	53,412	83,198	73,722		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年7月にアナログ波は停波した。 ケーブルテレビはデジタル波をアナログ変換して平成27年3月まで送信する。 ハイビジョン放送の普及に伴い、自主放送も整備を進めていく。 インターネット環境の充実(高速化、大容量化)が引き続き求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併により事務組合に統合 3局の制作、放送業務を木次局に集約 チャンネル構成、CS放送の一元化 ケーブルテレビ、文字放送使用料の統一 音声告知放送、文字放送の一元化 データ放送の導入、INTの一元化と増速 負担金の算定方法の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 番組の質の向上【住民】 運営の効率化【議会】 デジタル化(ハイビジョン化)への対応 インターネットの高速化【住民・事業者】

事務事業名	雲南夢ネット運営事業(CATV事業)	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・効率的な番組制作、人員配置により運営の効率化を図るとともに、情報提供の機会の充実を図る。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	民営化、IRU契約による業務委託等が考えられるが、加入者は大きな負担増となる。加入者の減少は避けられず、行政情報の提供にも大きな影響がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段(類似事業名))		市内一部地域に事業者による光伝送路が開設された。今後市内への展開の様子を見ながら、当該事業者との連携も模索する。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事務組合における共同事務の効率化を図り、負担金総額を縮減		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	業務体制、番組制作体制等の見直し		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	市政情報の提供媒体としてケーブルテレビの役割が益々増大していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	音声告知放送の一元化やデータ放送の導入により、ケーブルテレビの運営に市の関わりが拡大している。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	住基世帯を対象とした加入率は90%であり、大多数の個別住宅世帯が加入している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	個人のみならず、希望すれば事業所等も受益を受けることができるためその機会は平等である。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		番組制作にかかる業務体制の見直しを図りながら効率的な運営を図ってきたが、木次局の組織体制が歪なものとなり、運営の弊害となっている。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下		×																		
ケーブルテレビ事業の運営にかかる組織・機構のあり方について検討 市民ニーズに沿った番組の効率的な制作 共同事務の効率化を図り、負担金を圧縮		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			